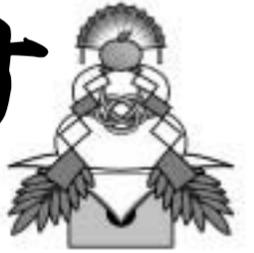


東京商工新聞

第489号
 発行 東京商工団体連合会
 〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1
 電話 03-5692-5081
 F A X 03-5692-5091
 発行責任者 井賀眞一

ホームページ [東商連](#) 検索 電子メール mailadm@toshoren.jp



明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひします

「インボイス制度実施中止 憲法をくらしに生かさそう」

東商連会長代行 武田 武

民主商工会会員と商工新聞読者の皆さん、明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスが私たちに発生して3年間、収束することを知らないコロナ環境は私たち中小業者の生業に多大な損害を与えてきました。物価高騰の影響と売にさらに困難を増すこととなり、この間、私たち民商が集まって話し合い、情報を共有し合い互いに支え合う運動の基本スタイルに困難を余儀なくされてきました。仲間、国民の暮らしを顧みず、声にも耳を傾けようとする。今年こそすべての地域でこの基本スタイルをインボイス制度の理不尽さと反対の声はいま多くの人に広がっています。インボイス制度実施の反対の運動で世論を巻き起こし、中止に追い込もうではありませんか。この春から運動をさらに強く進め、「つぶされてた」岸田政権の国会に誇ら

「インボイス制度の理不尽さと反対の声はいま多くの人に広がっています。インボイス制度実施の反対の運動で世論を巻き起こし、中止に追い込もうではありませんか。この春から運動をさらに強く進め、「つぶされてた」岸田政権の国会に誇ら

「インボイス制度の理不尽さと反対の声はいま多くの人に広がっています。インボイス制度実施の反対の運動で世論を巻き起こし、中止に追い込もうではありませんか。この春から運動をさらに強く進め、「つぶされてた」岸田政権の国会に誇ら



飛躍の年に 願いを込めて絵手紙教室 葛飾民商婦人部

12月5日に開催した絵手紙教室で年賀状を描きました。来年の干支のうさぎや紙風船、羽根つきの羽根、椿、富士山など心が明るくなる物ばかりでした。

描きながら「物忘れがひどくなった」「急いで食事をしたら喉に食べ物詰まり死ぬ思いだった」「仕事はあまり入って来ない」など絵を描きながらおしゃべりは止まりません。愚痴や悩みなど話せる集まりが楽しい。「友だちにプレゼントした絵手紙が喜んでくれた」「田舎の94才の母は毎回「ありがとう」の感謝の言葉を欠かさないうさぎや紙風船、羽根つきの羽根、椿、富士山など心が明るくなる物ばかりでした。

参加者一人ひとりの素敵な年賀状ができました。



東青協第43回定期総会 楽しく集まっていながら広げて商売伸ばそう

売が大変だからこそ、もつと仲間とつながりたい。青年部で集まろう

東商連青年部協議会は12月3日に、第43回定期総会を開催しました。定数29人に対し16人が出席し、今後の運動方針、役員、財政について決定しました。

開会あいさつで渡邊恵司議長（建築業）は「インボイスは誰にも良いことがない制度。この間、フリーランスや俳優・声優業界などからも反対の声が上がっているように、自分たちも一緒に声を上げて、国会に反対の声を届けよう」と呼びかけました。来賓の東商連大内史事務局長は「業者青年は大変な中で商売をしている。仲間

運動方針、決算・予算案は満場一致で採択され、新役員体制も承認された。議長に再任された渡邊議長は「コロナ禍、物価高騰で大変だが、業者青年の仲間同士、楽しく集まろう」と呼びかけた。



みんなで作るって楽しい 江東民商婦人部 正月飾りを作る会

11月22日、江東民商婦人部は「正月飾りを作る会」を開催しました。婦人部員の「みんなで楽しみなが何かを作りたい」という声で実現。婦人部役員で正月飾りの制作・販売も行っている高橋才子さん（建設業）を講師に、12人の参加者が思い思いに正月飾りを作りました。

「ここは何を飾ったらいいかな」「先生、上手くできません！」「あなた飾り、とっても素敵だわ」と大盛り上がり。折り紙や造花、飾りななで楽しみながら、いい物が作れてとても嬉しかった」と大満足の会になりました。

参加者一同、「みんなで楽しむのが目的です。みなさんがやりたいことや作りたいものがあれば、ぜひ一言してください」と呼びかけました。

最後は、婦人部長の山崎さんが「今日はとても楽しかったです。みな（江東民商 赤羽目新見）現に向けた活動を行っていきま



作った正月飾りを持って記念撮影

全ての業者に影響するインボイスは中止に 北区民商 支部で学習会を開催



豊島支部
11月16日に、6人の参加で行いました。藤ノ木支部長から、「インボイスが始まると本当に商売が大変になります。今日はしっかり学んで行きましょう。」との開会あいさつから学習会が始まりました。参加した方はクリーニング業、食品卸、飲食店など、それぞれの業種への考えられる影響もあわせての学習交流となりました。

「インボイスって思っていたよりも複雑で、一回聞いただけじゃ分らないね」「これが始まったら本当に大変」「国は私

たちみたいな小さな商売は辞めてもらっても構わないって言うてるみたいじゃないか!」など戸惑いや怒りの意見が出されました。チラシをもらったと会外から参加された方は、「私は商売はやつてないのだけれど、請負契約で働いてるのでインボイスの対象ですよ。給料の勤め先に転職できたら、した方がよいですよ」と悩まれています。

「インボイス登録は今のところするつもりないけど、常連さんが経費で落とせないってなったら考えちゃうよね」との感想が。工務店の宇津木副会長は、「この間、何回かインボイスの学習をして来たけれど、何回聞いても複雑で良く分らない所があります。それだけでもこんな制度いらなくてもいいと思いますが、私がかぶるのか?下請けさんに課税業者になつてほしいとお願ひするの

だよ!」と力説されました。

業者のだれもが不幸になるインボイスは中止し

十条支部
11月17日に9人の参加で行ないました。冒頭あいさつで吉良支部長は、「この間、何回かインボイスの学習をして来たけれど、何回聞いても複雑で良く分らない所があります。それだけでもこんな制度いらなくてもいいと思いますが、私がかぶるのか?下請けさんに課税業者になつてほしいとお願ひするの

だよ!」と力説されました。

業者のだれもが不幸になるインボイスは中止し

読者の



国民のための政治を

豊島区 清島美根子
コロナ禍による経営悪化の中、インボイス制度マイナンバーカード強制を中止し、消費税減税を声を大にして訴えます。悪政は今すぐ退場!

町田市 花田 節子
物価高のなか、消費税減税なし、年金カット、75歳以上の医療費窓口負担2倍、介護保険の大幅改悪など。こんな岸田自公政権許せません。退場を!

世田谷区 高橋一郎

「消費税減税・インボイス制度中止」に向けて来年9月30日まで、小さな声だが諦めない。断念しない。頑張ります。

お願い
ハガキ・メールを送るときは、住所・氏名をお忘れなくご注意ください。

前号のパズルの答え
ジングルベル
次の方に図書カードを送ります。

川居義昭(大田区)
丹治 翔(東久留米市)
村田 靖(西東京市)
敬称略

お楽しみ図書カードが当たる ザ・クロスワード

No.160

ヨコのカギ

- 正月遊びの道具の一つ
- 「土筆」って読める?
- 「.....の内」は1月1日から7日まで
- 正月、お供えといえば.....だこ、冷や.....
- 野暮の反対
- 夏季五輪開催年に大統領選挙がある国
- 年賀状の数え方
- 陸地に入り込んだ海
- 新聞の.....漫画
- 矛盾は.....とタテ
- 悪天候で壊れた箇所を応急.....で仮修繕
- 行列の.....はこちら
- 兄は弟より年が.....
- カムフラージュ
- 火事で.....に帰する

タテのカギ

- 初詣で授かる縁起物
- お相撲さんの感謝の言葉.....です!
- 初夢で見ると縁起よし幼児の代表的な玩具
- 糸を出して網を張る節足動物
- 見ること聞くこと
- 外側から見た様子
- 「産業の.....」といわれる半導体不足は深刻
- 全国.....支援で観光業は一息ついたかな
- 食後に使う人もいます
- 「公魚」と書く魚
- 直立二足.....するヒト
- 鉄道.....証明
- 岩石で構成された海岸
- きれいにすること



答えはハガキ・ファックス・メールに書いて東商連まで送ってください。所属民商名・団体名も。締切は毎月第2月曜日。なおひとこと紙面についてのご意見・ご要望・営業とくらしなどの状況をお寄せください。

正解者多数の場合抽選で、3人に図書カードをプレゼント。発表は紙面に掲載します。

「解きカギを解いてクロスワードを完成したら、二重ワクの文字をうまくつないで言葉を作成させてください」

商売のやりがい語り 東婦協「商売を語る会」

東婦協は11月23日朝早く息子さんを中心に「商売を語る会」を開催しました。11民商婦人部(うちウェブ6カ所)から子どもを含めて33人が参加しました。豊島・文京民商婦人部の小林美津子さん(豆腐製造販売業)と練馬民商婦人部の加藤節子さん(自転車販売修理業)の2人がパネリストとして発言しました。

文京区で大正2年創業の豆腐店を営む小林さんは「安心・安全な食品にこだわった豆腐作りと事業承継について話しました。小林さんのところのお豆腐の原料になる大豆は、山形県で契約栽培したもの。定期的に4トントラックで仕入れて毎日、地域の子どもたち

朝早く息子さんを中心に豆腐作りを行ってまいります。また最近、娘さんも商売を継ぐことになり、外食産業で働いていた前職を生かした娘さんの発案で出し始めたおいなりさんも好評であることも語りました。小林さんは「豆腐屋に嫁いで50年、4年前に夫が脳出血で倒れた時はそのままやっていけるか心配だった。しかし、周りの商店が変わるなかで、自分の豆腐屋を続けていくことが地域の活性化につながると確信をもてがむしやりに頑張ってきた。これからも家族、従業員と一丸となつて店を守っていきたい」と力強く語りました。

次に話した加藤さんは、練馬区で自転車屋を夫婦で経営しています。大正14年に創業し、加藤さんたちは3代目になります。加藤さんの夫は組立、修理、調整を担当し、加藤さんは接客、記帳を中心に行っています。加藤さんは毎日の仕事内容からこだわりが詰まった手書きのPOP(値札)を紹介したり、お客さんとの心温まる工

「豆腐屋に嫁いで50年、4年前に夫が脳出血で倒れた時はそのままやっていけるか心配だった。しかし、周りの商店が変わるなかで、自分の豆腐屋を続けていくことが地域の活性化につながると確信をもてがむしやりに頑張ってきた。これからも家族、従業員と一丸となつて店を守っていきたい」と力強く語りました。



オンラインで話す小林さん(画面)と会場の皆さん



子どもたちから贈られた手紙を持つ加藤さん

後藤和子副会長は「二人とも仕事が好き、商売にやりがいをもっているという共通点があった。私たちは地域で商売することが一番の社会貢献。個人店がより長く存続していけるような社会をつくってほしい」と、まとめました。参加者から「大型店にはない、個人店の大切さを知った」「これからも商売を頑張りたい」「集まっておしゃべりするのはいっぱい楽しい」と感想が寄せられました。

俳句

石川貞夫選

石路の花ぶれることなく生きてきし
三鷹市 根岸 操

「評」冬に咲く石路の花に、半生を重ねて深く思う。

一人見る何故か寂しい黒い月
大田区 山崎キナエ

「評」心躍るはずの稀有な皆既月蝕。しかし一人では。

公園の遊具うごかぬ紅葉散る
足立区 望月千恵子

「評」子供の帰った公園に、紅葉がさかんに降る。

黄の衣まといて見得る大銀杏
大田区 高橋 清美

「評」見事な黄葉の銀杏は、まさに見得を切る千両役者。

枯草をつめし袋のあたたかさ
大田区 馬場 恵子

「投稿規定」ハガキに3句以内。未発表に限る。住所・氏名・電話番号を明記のこと。締切は毎月第2月曜日。宛先は東京商工団体連合会「東京商工新聞」編集部。掲載者には図書カードを贈呈いたします。

*他にも佳句あり。次回もぜひ健筆を!